

月刊 JMITU **アキコ**



**5月号**

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガグループ分会 2017年発行

**No.389**

# JMIITU労働組合は、誰でも一人から入れる労働組合です。

JMIITU 日本金属製造  
情報通信労働組合)

セガには、労働組合が2つあります。一つは私たちJMIITU労働組合、もう一つはJAM労働組合です。

毎月、皆さんのお手元に、機関紙「デイスカ」を配布しているのが私達の労働組合です。

私たち労働組合は、仕事のこと、賃金や労働条件のこと、雇用のことなど、職場で困ったこと、どうしても会社に伝えたい思いをみんなの代表として会社に要求し、その実現のために交渉します。

働く者の権利をまもり  
パワハラにも強い  
労働組合です

またJMIITUの組合員になれば会社の不当な嫌がらせなどもなくなります。

JMIITUは、会社と協力すべきは協力しますが、働く者の権利をまもる立場をつらぬきます。

特に一方的なクビ切り、嫌がらせ隔離部屋や賃下げなどリストラの闘いでは多くの実績を積んでいます。またパワハラが横行している職場にJMIITUが出来た途端、ピタリと止めた実績があります。こうした力を發揮して働く者

の権利を守る闘いを進めていきます。

また、職場に労働組合がなくても、雇用形態に関係なく誰でも一人から入れます。

職場の問題で不安や困ったことがあるときは、一人で悩まず、あきらめて会社を辞める前に気軽にJMIITUにご相談ください。

**有給休暇は自由に  
とれますか？**

使用者は、労働者に有給休暇を与えなければなりません。(労働基準法39条)ところが、実際に自由に有給休暇をとることができない、という会社が少なくありません。

JMIITUの多くの職場では自由に有給休暇を取る権利を確立しています。

**春闘夏季一時金**

**執行部へ承妥結の方向へ**

2017年春闘・夏季一時金について、要求とはかけ離れている回答ですが、7年ぶりの一時金係数0.5上乘せ2.25、支給日は6月16日(金)最終回答を受け、組合執行部としてこれ以上の闘争にて、今春闘の進展が見られないと判断し執行部了承で妥結することを会社に通告致しました。

また、7月より導入予定の「フレックス制度」について、先週会社より発表がありました。が、これについて会社に聞けない問題点等ありましたら私達組合ホームページにてアンケートを行っています。ぜひ回答下さい。

回答内容を参考に会社と協議していききたいと思います。

# 広がる貧困と格差

## 子供への支援 問われる現在

広がる貧困と格差が、子供達の現在と未来を閉ざしています。子供の貧困率は過去最悪の16.3%（2012年）に達し、6人に一人が貧困ラインを下回る生活を強いられています。

経済的理由で家族が必要とする食料を買えない、病院に受診させられないという経験のある世帯の最大理由はお金がなかったからです。困窮世帯ほど進学志向が低く、将来への期待感を低下させているのが現実です。こうした日本の子供の状況は、経済協力開発機構加盟国のなかでも突出して以上なものとなっています。

経済協力開発機構加盟国の家庭分野への社会支出の対国内総生産比で見ると、一番高いイギリスでは3.76%、各国平均は2%ですが日本はわずか1.25%にすぎません。

## 相対的貧困は6人に1人

相対的貧困は普通の世帯と比べて所得が著しく低く、生活が苦しいという種類の貧困でこれが急速に増えています。先進国では普通に生活できない状態を貧困ととらえません。基準は「人間らしく暮らせるかどうか」です。日本の子供における貧困問題は悪化の一途をたどっています。

ます。

大きな要因としては非正規雇用が拡大している事にあります。ここ数年拡大傾向にある日本の非正規雇用は家庭を支える親の収入を不安定にする要因ともなっており、それが子供の貧困に直結しています。このような状況がひとり親家庭の貧困状況を改善されにくい環境を作っています。

## 特定世代の問題で亡くなった貧困

40代世代、90年代後半以降大学を卒業し就職氷河期で不本意ながら非正規で働き正規雇用に移れないまま困窮状態に陥るひとが多くいます。女性の貧困も厳しい状況です。男性と女性の賃金格差も激しい国で特にシングルマザーの2人に1人は貧困状態と言

われています。

高齢者の貧困問題はこれまでお金がない高齢者を支えてきた家族が疲弊し、支えきれなくなっています。

介護費用や施設利用料を払えないとか、親を支えるはずの子供のたちの所得が減って余裕がない状況になっています。

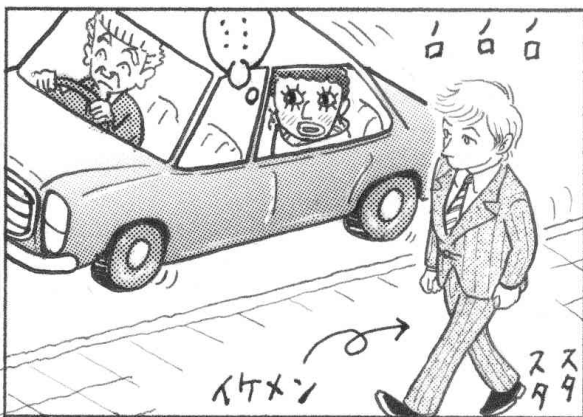
## 国民が困っていても廃止しない政党助成金

進学や普通の生活ができない子供、非正規で収入が不安定で親の介護に苦しむひとがいま

自己責任を言うのなら政党活動も自腹ですべき、税金投入はおかしくないですか？

税金の使われ方、社会保障に関心を持ちましょう。より良い社会づくりは私たち次第です。

# 4こ末漫車





ショートショート

## 弁明

仙洞田一彦

自分から「小説を書いています」とは滅多に言わない。

小説を書いていることが知られると、相手から真っ先に出て来るのが「芥川賞」という言葉である。おそらく「文学」あるいは「小説」という言葉と「芥川賞」は同義語ではないかと思うほどである。

実際に賞の歴史もあるし、マスコミでも、しばしば報道されるので無理はない。しかし、世に文学賞というのはいかにある。文芸雑誌には「新人賞」があり、県、あるいは都市の名前を冠した文学賞もある。わたしの知人にも、最近そういった賞をもらった人

がいる。

中には賞金一千万円とかいう文学賞もあるらしい。今もあるかどうかは知らない。

「芥川賞」というのは、いわばこれらの代表というべきものかも知れない。別格ともいえるのは「ノーベル文学賞」で、村上春樹が毎年話題になっている。

小説を書いているのを知って、真っ先に「芥川賞」という言葉を出す人というのは、むろん例外もあると思うが、あまり小説を読んだことのない人のような印象がある。これは悪口というわけではない。わたしが別分野の専門家に発する言葉と、同じレベルのよう思う。「まず芥川賞、その次は直木賞ですね」

と、言われたらどうか実際に言われたことがある。冗談だろうとは思いますが、それはもう、黙ってニコニコして、

うなずいているしかない。もう大分前のことである。わたしが小説を書いていることを知ったうえで、親切に言ってくれた人がいた。

「子供をプロ野球の選手にする親がいます。でも小説家にした方がいい。小説の方がずっと収入が多い」

小説を書いている奴は金があると思いついてるようだ。それよりもっと昔は、小説家イコール貧乏人だった。飯を食う金がないので自分の本棚から本を抜いて古本屋に売って、その金で飯を食うような感じである。どこでそれがひっくり返ってしまったのか分

からない。とはいっても、芥川賞を貰うと家が建つというのを、どこかで読んだ記憶がある。

つい先日読んだ本によると貧乏に親しんでいる人の方が多いようだ。本当に家が建つたとするとよっぽどラッキーだったのだろう。

もし、小説を書いている人と分かったら「芥川賞ですね」などと言わずに、「ドストエフスキーです」でも言った方がいい。ドストエフスキーでなければ、プルーストでもいい。

かなり文学をやっていると思われる人でも読んでいない確率が高い。何度かかじりかけて、途中で投げ出してしまう可能性がある。本格的に文学するならドストエフ

スキーくらい読まなければならぬという気持ちは持ち続けている。だからそんな名前が出る。「ドキッ」とする。

言われた方は、この人の小説のイメージはドストエフスキーなんだ、と思う。「迂闊なことを言えない」と思うかも知れない。万一、ドストエフスキーと聞いてうんちくを傾けられたら、へえつと感心して聞いていれればいい。

「ご趣味は」と、聞かれても「小説を書くこと」とは答えない。趣味というのは、気の赴くまま、楽しみという感じがあつて「小説を書いています」と答えるには、抵抗を感じる。書くことが嫌いではない。好きなことだから趣味といえないこともないが。書くこと自体楽しい面もある

から、趣味といえないこともない。楽しい反面苦しいことも多いので、手放して趣味というには抵抗を感じる。

書くためには本を読まなければならぬと思つている。だから「ご趣味は」と問われたら「読書」ですと答えてもいいかもしれない。読書量は多い方だと思つているが、自分の中では、「読書」ですと答えられるほどは読んでいないと思つている。趣味というのめり込む面がある。この点でも欠けていて、書く必要から読んでいることも多いので、趣味として読書を上げるのも抵抗がある。

「ご職業は」と、問われても「小説を書いています」とは答えにくい。職業といつたら、それで食つている、生活を支

えているという意味合いが強い。原稿料を貰わないわけではないが、食べるわけではない。一日のうち一番時間を取られていて、取らなければならぬという点では「職業」に匹敵するかも知れない。

ショートショートは、日本語で「掌編小説」のこと。「掌編」というのは「きわめて短い作品」のこと。だからショートショートも文学作品。たんに短いだけでなく、オチがあるとか、起承転結がはっきりしているとか、いろいろ条件を付ける場合もある。しかし、様々な作品を読んでみると、たんに短いというだけという方が多いようだ。

短い作品で有名なのはチェーホフではないかと思う。チェーホフは日本では芝居で有

名だが、中短編小説合わせて、今でも出版されている。

変わったところでカフカという作家がいる。遺言に、日記、手紙、遺稿を焼却するように書いた。ところが友人がこれを守らずに出版してしまった。おかげで、チェーホフ同様世界文学として残り、読むことができる。カフカの作品は文庫本の二、三ページという短いものでも、きわめて印象の強いものがある。

ショートショートというと娯楽もの、SFものという印象だが、そういう限定を受けない文学作品ととらえた方がよいようだ。別に頼まれたわけでもないし、被害妄想かも知れないが、軽んじられると思われるショートショートのために弁明する。

## フレックスタイム制度

旧セガを含めたSHD、SIC、SGCの3社で、7月に導入予定されているフレックスタイム制度の運用ルールが、11日に発表されました。

導入の目的は、「会社の財産である社員の心身の健康保持はもとより、個人の多様な価値観や働き方を尊重し、時間管理の意識向上、効率的・自律的で生産性の高い働き方を目指す」とあります。

現行制度からの改善点としては、働き方の選択肢増によるワークライフバランスの実現や深夜勤務に伴う健康障害発生リスクの低減などをあげています。

フレックスにおける就業時間を見ると、コアタイム（必

ず出勤しなければならない時間帯）は10時30分～15時30分、フレキシブルタイム（選択により働くことができる時間帯）は8時～10時30分、15時30分～22時と、1日の労働時間に幅ができました。

自由に労働時間が選択できて良いように思えるかもしれませんが、全ての従業員が労働時間を管理しながら健康保持ができるでしょうか。子育てや介護ができるでしょうか。8時間働き、8時間休養、8時間自分の時間を過ごすことが健康的な生活です。そして、仕事と育児・介護の両立ができる制度を作ることが必要です。

下記分会ホームページにて「フレックス制度」についてアンケートを行っています。

皆さんの回答内容を参考に会社と協議してまいります。

（無記名で回答結果も閲覧できますので是非ご覧ください。）

セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>



労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>